

○ 水辺空間の持続可能な環境課題解決に向けた検討部会

<事務局>

埼玉県 県土整備部 河川環境課

<設置目的>

水辺の保全と経済活動の両立のため、企業・団体等の持続可能な官民連携協働スキームの構築を目的とする

<これまでの取組状況>

- 令和3年度（水辺の企業マッチング）
 - ・生命保険会社がユニバーサルデザインヨットの普及を進めるNPOに対し、車いす利用者のヨット乗降用リフトを寄贈
 - ・生涯学習を推進するNPOと釣り餌メーカーが連携して、筏づくりとはじめての川釣りリバービーチキャンパスを開催
- 令和4年度（水辺の利活用だけではなく、より環境に配慮した取組も）
 - ・生物多様性戦略を踏まえ調節池のOECM位置付けを目指す自然共生サイトの勉強会
 - ・横瀬町官民連携PF「よこらぼ」と連携し新たな水辺の利活用社会実験に向けた研修会
- 令和5年度（「利活用×環境保全」をテーマに、水質改善や環境保全を検討）
 - ・生物多様性戦略を踏まえ調節池の自然共生サイト認定要件に基づく情報整理、多様な主体との連携策の検討
 - ・横瀬町官民連携PF「よこらぼ」と連携し新たな水辺の利活用社会実験に向けたワークショップを実施
- 令和6年度（環境保全、水質改善、利活用を考えるプロジェクトを継続）
 - ・生物多様性戦略を踏まえ調節池の治水と生物多様性の両立を目指しフィールドワークを実施
 - ・地域特性を踏まえた新たな河川利用策を見出し活用を促進するため、企業・行政共同で利活用アイデアの創出を実施
- 令和7年度（環境保全、水質改善、利活用を考えるプロジェクトを継続）
 - ・生物多様性戦略を踏まえた調節池の治水と生物多様性の両立を目指しフィールドワークを実施
 - ・市民団体・行政・企業の連携でヨシ狩りワークショップを開催



SDGs 未来都市



埼玉県

○ 水辺空間の持続可能な環境課題解決に向けた検討部会

< 今後解決したい課題や令和8年度に実施したい内容 >

- 県では治水対策として調節池の整備を進めているが、この調節池では気候変動による災害の激甚化対策と、県生物多様性保全戦略の目指す将来像「ネイチャーポジティブの実現」に資する生物多様性の保全・再生を同時に解決するグリーンインフラとなるような、整備及び維持管理が求められている。

多様な主体の連携によりこの実現を図ることができれば、民間の取組等によって生物多様性の保全が図られている「自然共生サイト」として貢献できる可能性がある。

そこで、民間活動団体との連携実績がある県管理調節池の中から2か所を選定し、必要情報の収集・整理、多様な主体との連携手法の検討を行いたい。

大森調節池・水谷調節池を対象としたワークショップを開催し、「多様な企業・団体と連携した持続的な維持管理スキーム」の検討を行う

- ① 様々な業種や業態の団体との連携手法及び持続可能な活動にしていくための検討
- ② 調節池をフィールドとした各種イベント及び調節池の治水と生物多様性の勉強会の実施

< 特に連携していきたい企業・団体等 >

自然環境保全に興味がある企業・団体・教育機関全般

